

脳神経外科【Stage2】

1. 実習の基本方針（目的・到達目標）

講義および stage1 で得た知識などを再度の臨床の場で認識し、さらに深め、脳神経外科疾患の診断及び治療の考え方の基本とその応用実践を体得する。
活動している脳を直接に視て・触れて、脳という神秘の臓器により近づいて、診断から治療、その後の経過を実習を通して学ぶ。

Stage 2 は、院内での手術を中心に、救急疾患の対応や病棟実習でも、より実践的な内容を充実させる。

2. 実習の方法（内容・行動指針）

担当患者さんを複数受け持ち、担当医からの指導のもとに、病棟での実習を行う。（指導医—上級医—研修医—実習学生で構成される屋根瓦方式）
また、手術や救急症例にも積極的に参加し、実践的な実習を行う。
最終日に受持患者さんの中から1例を選んでレポートをまとめ、発表する。

3. 実習上の注意事項

- 1) 服装は清潔にし、不快感を与えないものとする。
- 2) 患者さんには誠意をもって接する。知り得た情報は他言しない。
- 3) 患者さんの質問には自分の判断で答えない（主治医に連絡する）。
- 4) 社会人の基本として時間を厳守し、節度ある態度で臨む。

4. 「医学生の実習における医行為と水準」の例示

- 1) レベルⅠ：指導医の指導・監視の下で実施されるべき
病歴聴取、問診・簡単な器具を用いた神経学的検診
採血、静脈路確保、包交消毒・抜糸(抜鉤)の実施、手術直接助手
- 2) レベルⅡ：指導医の実施の介助・見学が推奨される
腰椎穿刺、中心静脈カテーテル挿入、気管切開交換
ドレーン挿入・抜去、動脈穿刺・採血
患者さんへの病状説明時の積極参加、術前・術後管理

週間 schedule

	担当教員	実習内容（午前）	
初 日	藤木教授	8 時 morning conference	関連病院紹介
	秦准教授	オリエンテーション	
	阿南教員	病棟紹介	

学内実習

※ 集合時間・・・午前 8 時 Morning Conference

※ 集合場所・・・病院 2 階 脳神経外科カンファレンスルーム

曜日	担当教員	実習内容（午前）	実習内容（午後）
第 1~4 月	川崎教員	病棟実習	病棟実習
	大西教員	外来実習	17 時 手術カンファレンス
火	阿南教員	手術実習(見学)	手術実習(見学)
	森重教員	外来実習	
水	杉田教員	手術実習(見学)	手術実習(見学)
	松田教員	外来実習	
木	藤木教授	教授回診（担当患者説明）	病棟実習
	阿南教員	血管撮影・外来実習	
金	靱井教員	手術実習(見学)	手術実習(見学)
	川崎教員	外来実習	

最終日	藤木教授		午後： 発表（まとめ）
-----	------	--	-------------

院外実習

関連施設である大分県立病院、別府医療センターなどで、最大 2 週間実習を計画します。*感染症対策などの社会情勢により、変動があります。

実習概要は上記のとおりですが、個々人の希望などに沿った実習内容に組み替えることも可能です。

（手術手技重視、外来実習重視、関連病院実習重視、それらの組み合わせ）
希望者には、時間外緊急手術の対応（呼び出し）も 行うことも可能です。